



# 6月のお便り

令和3年6月1日  
東明幼稚園・とうめい保育園  
文責 古賀 俊恵

あつという間の6月。園の周りの山々も鮮やかなきみどり。田んぼには、水が張ってあり、田植えを今か今かと待ち望んでいるようですが、田植えをするには、まだまだお仕事がありそうです。

今年は、子ども達に「田植え」の経験をさせたいと思っておりますが…

ただ、田んぼの持ち主の方をお願いしまして、園でも「田植え」を行います。発泡スチロールに田んぼの土を入れて、「苗」を植えます。稲の成長を観察しながら「稲刈り」、楽しみです。

毎日、子ども達は「元気に登園」しています。0歳～5歳児まで、お天気の際は「園庭」で遊び、大きいクラスの子も遠くまで散歩。その時に目にしたもの、耳で聞いた音、手で感じたものなど、五感を働かせて、想像豊かに「自分の思い」を言葉で話すことが出来るようになってきています。

こんな世の中ですが、今、できることを精一杯させてやりたいと思い、保育を行っております。



## 保育士の日誌より抜粋

模倣ごっこ(こすもす組)

ぬいぐるみを赤ちゃんに見立てて、抱っこしたり、物を食べさせたり。また、皿やコップを手洗い場にもって行って洗う真似をしたり。自分たちがしていること、してもらっていることが身につけている子ども達です。

玉ねぎの収穫(すみれ組)

玉ねぎを収穫した後の子ども達の活動から

収穫した玉ねぎの模写。色や形を見ながら描くことが出来た。

また、玉ねぎを切って、「生」の状態と、「水」にさらした状態のものを食べ比べることで、同じ食材でも味が違うこと感じていた子ども達でした。(五感を刺激しています)

みかんも  
りんごも  
おたがいに  
くらべっこも  
競争もしないけれど  
それぞれに  
いのちいっぱい  
じぶんの  
花を咲かせ  
自分の実をつける  
みつを



(全身運動)ちゅうりつが組

ホールで、全身を使う遊びの一環として「玉入れ」を行いました。

投げ方や、投げるフォーム、また、遠くにある球を拾いに行く。

子どもなりに考えて、ジャンプしたり、拾いに行ったりなど、自分でやろうと、試行錯誤する姿が見られました。

ことば遊び(さくら組)

頭に「せ」のつくことばをたくさん集めてみようという活動をしました。少し難しかったので、ひらがなの「せ」の文字を見せて、おなじ「せ」の字はどれか確認しながら行っていくと、子ども達も楽しんでいました。



事務室の前の窓に、たんぼぼ組の子ども達の作品を飾っています。

今月は、梅雨にちなんで

「かさとかエルさん。」一人で描く子、保育士に手伝ってもらいながら描く子。0歳児、1歳児とも、楽しみながら作っています。来園された時に、ご覧になってください。癒されますよ。

朝、子ども達の歌声、元気な返事。そして、保育士とのやりとりで見せる「子ども達の笑顔」。

大人が忘れかけている「何にも縛られない、あるがままに振る舞う子ども達」の姿を見ながら、ふと、自分の行動を考えてしまう私があります。